

会 議 録

1 会議名

令和4年度第8回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項

(1) 令和3年度の「牧湯の里深山荘」における市及び指定管理者の収支状況等について（公開）

(2) 「新市建設計画の変更について」の諮問に対する答申について（公開）

(3) 令和5年度「地域独自の予算」提案について（非公開）

地域活性化の方向性について（公開）

○自主的審議事項（公開）

(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について（グループ討議）

3 開催日時

令和4年10月18日（火）午後6時30分から午後8時40分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、難波一仁、横尾哲郎

・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、小林次長、佐々木グループ長、藤井班長、田中主事（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【小林次長】

・会議の開会を宣言。

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：難波委員に依頼。
- ・本日の報告事項である、(1)令和3年度の「牧湯の里深山荘」における市及び指定管理者の収支状況等について、事務局より説明を求める。

【小林次長】

—資料No. 1に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【井上委員】

- ・今回の説明は、前回地域協議会で説明いただいた「日帰り・宿泊温泉施設の適正配置」に関わるものなのか。

【山岸所長】

- ・昨年も、同時期の地域協議会で収支報告を行っている。9月議会が終了した段階で、各区における温泉施設の収支状況を地域協議会へ示しているものである。

【飯田副会長】

- ・資料「4 指定管理者の収支状況」の「その他」に関しては、下段に記載されている各種助成金という解釈でよろしいか。

【小林次長】

- ・雇用調整助成金479万3千円に加え、施設のカラオケやゲートボール利用料55万円があり、合計534万3千円となる。

【飯田副会長】

- ・助成金がなければ赤字ということか。

【山岸所長】

- ・利用料金収入に着目すると、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受けている。また、令和3年度は前年と比較すると回復傾向ではあるものの、令和元年度実績の半分にも満たない。助成金によって成り立っている部分もある。一方、支配人の話によると、新型コロナウイルスも落ち着いてきていることから、休日の利用も増えつつあるとのことである。

【西山会長】

- ・他に質問、意見等がなかったため、一つ目の報告事項を終了する。続いて、(2)「新市建設計画の変更について」の諮問に対する答申について、事務局より説明を求める。

【田中主事】

—資料No. 2に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

(質問、意見等なし)

【西山会長】

- ・質問、意見等がなかったため、二つ目の報告事項を終了する。続いて、三つ目の報告事項に入る。

【藤井班長】

※令和5年度「地域独自の予算」提案について（非公開）

—地域活性化の方向性について説明—（公開）

【西山会長】

- ・今程説明のあった地域活性化の方向性について、質問や意見等はないか。

(質問、意見等なし)

【西山会長】

- ・他に質問、意見等がなかったため、報告事項を終了する。続いて、自主的審議事項である、(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について（グループ討議）、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

—グループ討議の進め方について説明—

(班ごとに分かれ、グループ討議)

【西山会長】

- ・時間となったので全体発表に移る。それでは、1班より発表を求める。

【飯田副会長】

- ・今回は、主に「高齢者の生きがい」の政策について協議を行った。年を重ねると、頼りにされることをうれしく感じたり、生きがいを持つことで物事のやる気につながる。その一つとして、住民同士の交流を図る「よろばたの会」を牧コミュニティプラザで開催していることを伺った。一方、参加者の多くが女性であることから、男性が交流できる場もないかと協議しているところである。また、高谷集落や深山荘で行われている無人市が挙げられる。地元のお母さん方が育てた野菜を売り出すことで、日々の楽しみや生きがいにつながっているとのことである。最後に、新たな交通手段として予約型コミュニティバスの運行が開始されたが、利用方法が区内に浸透していない。そのため、行政と地域住民が一緒になって努力していくことが大切であるとする。

【西山会長】

- ・続いて、2班より発表を求める。

【佐藤委員】

- ・今回は、主に「ライフラインの確保」の政策について協議を行った。まず、JA店舗を維持・活用するために、個人栽培を行っている方の野菜も常時販売できる体制を整えるなど、地域の活力を用いて活性化につなげられたら良いとの意見が挙げられた。続いて、予約型コミュニティバスについて、学生は冬期間のバイク通学が困難となり、今後バスの利用頻度が増えることが想定される一方、高齢者については、1班同様に利用方法が熟知されていないことが懸念され、今後対策が必要だと考える。また、柳島や山口などの交通の便が良い場所に共同住宅を建設して居住し、畑や田に通う「牧版コンパクトシティ」といった画期的な意見が挙げられた。住宅地を集束することができれば、除雪費が軽減できるといった利点もある。最後に、メープルシロップについて、購入希望者とコミュニケーションを取り、販売促進を図ることで、牧区の特産品として頑張りたいと考えている。

【西山会長】

- ・続いて、3班より発表を求める。

【横尾委員】

- ・協議の中で、産業（農業・林業）は、中心核を公社や農業の担い手に任せるとともに、それらの団体や人々を支援する体制づくりが必要であるという共通の意見が挙げられた。そして、「高齢者を中心とした公共交通問題について」は、1班、2班同様、新しい交通手段として予約型コミュニティバスの運行が開始されたが、利用方法が熟知されていない。従来と異なる予約型コミュニティバスの利点を周知することができれば、今後の対策につながると思われる。

【西山会長】

- ・本日のグループ討議を終了とするが、本日提供された資料について、井上委員より説明を求める。

【井上委員】

—提供資料に基づき説明—

【佐々木グループ長】

- ・学校の適正配置については、地域協議会においても教育総務課より説明させていただいた。9月末には臨時の町内会長連絡会議を開催し、町内会長に対しても同様の説明をさせていただいたところである。その後、市議会の所管事務調査で教育総務課が説明を行い、議員から取組に対する質問等をいただいた。牧区総合事務所としても、教育委員会と連携を図り、中学生以下の全保護者を対象にアンケートを実施する予定で進めている。質問事項として、統合についてやむを得ないと考えているのか、あるいは統合すべきではないと考えているのかを挙げており、統合先などの具体的な問いかけはしていない。保護者の方も様々な考えがあると思われることから、アンケートの結果をまとめたうえで、地域協議会やPTA、牧区全体に情報発信させていただきたいと考えている。そして、学校の適正配置においてどのような選択肢があるかを把握し、アンケートを基に町内会長や地域協議会、学校運営協議会等に説明することを教育委員会と情報共有している。アンケートについては、PTA会長をはじめとする三役に話をとおしており、近日中に実施予定となっているため、ご承知おきいただきたい。

【井上委員】

- ・アンケートの内容や集約の仕方はどのようなものなのか。例えば、「大規模校に行くか」、

あるいは「牧区の小中学校に残るか」という極端な質問は好ましくない。

【佐々木グループ長】

- ・内容はお見せできないが、「学校の在り方についてどう考えるか」という質問に対し、「このまま」、「統合に賛成」、「どちらでもない」という選択肢がある。また、「学校の適正配置を考えるうえで、期待することは何か」という質問に対し、「集団で行動することで社会的協調を身に付けることができている」など、適正配置をすることにより、どのような利点があるかをまとめたいと考えている。それらの質問事項に加え、「自由意見」の記載がある。そして、アンケートについては、7月上旬にPTA等の代表者にお集まりいただいて案をお見せし、精査しながら内容をまとめたという経緯がある。教育委員会の適正配置の方針を強制するものではなく、保護者の意見を伺いながら、子どもたちに最適なものを考えたい。牧区も範囲が広く、保護者がどのような意向なのかは不明な点もあることから、アンケートにより傾向を把握したうえで、議論を重ねていきたいと考えている。そのため、統合先の学校規模を伺うことはないが、統合について「このまま」、「統合に賛成」、「どちらでもない」を質問事項として挙げているところである。

【山岸所長】

- ・この三つの選択肢しかない中で、大勢の保護者が「このままで良い」という回答であれば現状維持となり、井上委員の考察も議論まで至らないと思われる。「統合に賛成」あるいは「どちらでもない」といった意見も考えられることから、まずはアンケートの結果を見てからのほうが良いと思われる。

【井上委員】

- ・自分の考察にこだわるわけではないが、現状のままでは少子化が進行するだけである。「自分の子どもにどのように育ててほしいか」という保護者の気持ちが学校教育と大きく関わると思われる。アンケートで質問するかは別として、子どもが育つことに対する願いを大事にしていきたい。

【西山会長】

- ・この問題を今後の地域協議会で協議したい意向があれば、ある程度議論を進めていく必要がある。また、井上委員の説明の中で具体的な統合先として清里区、高士地区が示されたが、果たしてそれが適切なものか。高士地区も同様の状況であり、それらを統

合しても最終的に規模が縮小し、統合を繰り返す懸念もある。生徒数について、座学は小規模でも十分であり、競争心が芽生えない対策としては校外学習が挙げられる。一方、保護者が子どもを学校まで送迎することは、勤務している保護者にとって大きな負担となり、それらを踏まえると個人の意見としては分校の方が良いと考える。このような協議を今後の地域協議会で行っていきたいと思う。最後に、今後の進め方の考えについて、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

- ・今後の進め方について、事務局としては、グループ討議で各班から出された意見を整理し、次回以降は全体会の中で深掘りをして政策につなげていくことを考えている。今程、井上委員や西山会長からご意見をいただいたが、他の委員からも進め方についてご意見をいただきたい。今後の進め方について、時間を設けるので班ごとに協議いただきたいと思う。

(今後の進め方について、班ごとに協議)

【西山会長】

- ・時間となったので全体発表に移る。それでは、1班より発表を求める。

【小林次長】

- ・今までグループ討議に取り組んできたが、井上委員の意見を含む各班の意見を一旦まとめ、全体会で整理を行っていきたい。その中で不明点等があれば、専門家から話を聞いたり、必要に応じてグループ討議を行っていくことが意見として挙がった。

【西山会長】

- ・続いて、2班より発表を求める。

【佐藤委員】

- ・1班と同意見である。今まで深掘りを行ってきたので、事務局から各班の同じ意見を整理していただき、全体会で協議し、さらに必要なことを行っていけば良い。また、学校の適正配置に関わることは、保護者の方の意向が最もであることから、アンケートを実施後、結果を見ながら地域協議会と保護者との話し合いの場を持つなどした方が良いと考える。

【難波委員】

- ・意見としては、1班、2班の意見と同様である。全体で協議を行い、必要に応じて分

野ごとに分かれ、具体的に協議しても良いと考える。

【西山会長】

- ・今程、各班の意見を伺ったところ同様の意見であったことから、事務局で意見の整理を行い、次回は全体会の中で協議を行いたいと思う。

【難波委員】

- ・最後に、井上委員にお聞きしたい。今程、井上委員の説明に対し、西山会長から保護者が子どもを学校へ送迎することは大きな負担になるとの意見もあった。一方、現状として保育園は入園希望を提出する際、入園できない場合を考慮して第5希望まで記載するとのことである。また、昔は地元の学校に通うことが当たり前であったが、現在はスキーや剣道、柔道などの様々な特色を持った中学校があったり、高校にあがれば部活を含む専門分野を選択することができるが、井上委員の考えだと市内のどこにでも通学できるという考え方か。

【井上委員】

- ・話のタネとしてである。強制するものではない。

【難波委員】

- ・市内全域で取り組めば別であり、牧区のような小規模校を希望する子どもがいるかもしれないが、市内のどこへでも通学できるようにすることは、牧区だけで取り組むことは難しいと考える。一方で、もし市内の学校を選ぶことができれば、附属中学校等の定義も変わることから興味深いと感じた。

【西山会長】

- ・他に質問、意見等がなかったため、自主的審議事項について終了する。続いて、その他連絡事項について、事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・中郷区地域協議会からの意見書提出について
- ・八千浦区地域協議会からの意見書提出について
- ・三郷区地域協議会からの意見書提出について
- ・議会報告会・意見交換会の開催について
- ・牧区地域協議会委員視察研修の実施について
- ・次回地域協議会の開催について、年間スケジュールどおり11月22日の火曜日、午

後6時からとする。冬期間のため、開始時間が30分早まるのでご承知おきいただければと思う。

【西山会長】

- ・意見を求めるが発言がなかったため、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。